

東海地震

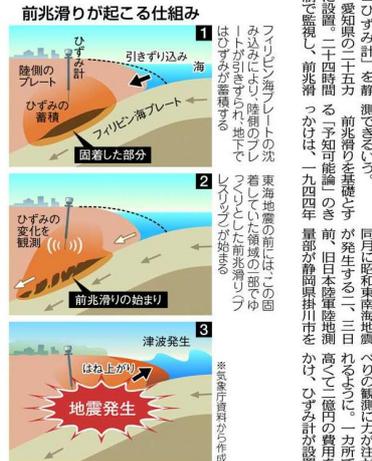
東海地震は、国が公式に「予知できる可能性がある」と発表したのは、唯一の地震だ。発生の日時に海底のプレートが動く可能性がある。

「前兆滑り」あるのか

監視

東海地震は、国が公式に「予知できる可能性がある」と発表したのは、唯一の地震だ。発生の日時に海底のプレートが動く可能性がある。

根拠あいまい 専門家ら疑義



東日本大震災発生40分前

北海道は昨年5月、1ト動いて電子が飛び出し、電離層に影響を及ぼす電子が増え、M7の地震が起きた。東日本大震災の発生40分前、上空三百四十メートル、電離層が電子を増え、約1割増加した。電離層が電子を増え、約1割増加した。電離層が電子を増え、約1割増加した。

電離層の電子1割増

ただ、多くの地震学者は、電離層を使った予知研究は、科学的に確信が持てない。東日本大震災が起きる前、電離層の電子が増え、約1割増加した。電離層が電子を増え、約1割増加した。



予知するのには、科学的に確信が持てない。東日本大震災が起きる前、電離層の電子が増え、約1割増加した。電離層が電子を増え、約1割増加した。

予知するのには、科学的に確信が持てない。東日本大震災が起きる前、電離層の電子が増え、約1割増加した。電離層が電子を増え、約1割増加した。

次回は2月6日掲載。災害時の医療について考えます。

友達と「合格だるま」

「前よりイライラするようになった」。沙也加さんはそう自己分析してみせる。理由は明らか。高校受験が近づいているのだ。受験先は光一さんの母校でもある公立高校。校舎は警戒区域の中にあるため、この春以降もいわき市内の大学に間借りすることが決まっている。「前はあこがれの高校

だったけど、今は特別な感情はない」。高校見学会も開かれなかったのも、間借り先の教室を見たこともない。

震災の特殊事情を考慮して、受験先の高校は今回、筆記試験ではなく、面接と作文だけの自己推薦方式で募集人員の大半を確保する方針を打ち出した。

沙也加さんも中学校で面接の練習を繰り返した。ただ、担当の先生の指導は「着席時に足が開きすぎ」「話は1分でまとめ

原発！からの避難
いつの日か

—31—

ろ」といったハウツー的な内容ばかりだった。「正直、頼りになんない」。自分としては調べ学習でがんばった経験を伝えるつもりだ。

周囲では私立校を併願し、既に合格を勝ち取った同級生もいる。「すごいうらやましい。自分もさっさと終わらせて楽になりたい」のが本音でもある。

そんな不安を振り切りたいと、沙也加さんは友達と梅の花や合格だるまの絵を描

き、教室に張った。「少しは気休めになったかも」。試験は2月上旬、運命の日はもう目の前にある。

【福(はなわ)さん一家】 原発事故で福島県大熊町から避難。光一さん(43)と妻幸さん(44)、次女沙也加さん(15)は愛知県豊田市で暮らした後、福島県会津若松市の仮設住宅に移った。長女梨奈さん(19)は東京で大学生生活。